

大谷風神祭行列の解説と見所



● 盛 砂 (もりずな)

新しい山砂を道の真ん中に点々と盛り、道の清めと道標にしています。お神輿が通るまでは踏んではいけません。ご利益が来るように各家にもつながっています。

● 花火打ち上げ

江戸時代から続き県内で最も古い歴史を誇ります。昔、火薬は医者を取り扱うもので、大谷の白田内記家の白田医者と、外記家の濱田医者が競って上げていました。大正14年まで花火を製造していた歴史もあります。

● 消 防 団

ロウソクをたくさん灯す風神祭の防火と治安維持および行列の総指揮を務めています。

● 高張提灯 (たかはりちょうちん)

先頭は総指揮を務める消防団、次に大谷連合区の高張提灯が行列を先導します。

● 天 狗

神輿の白山大神様の道案内をしています。神話の天孫降臨でニニギノミコトを案内した猿田彦神のこと。露払いの獅子と一緒に歩きます。

● 代々神楽 (おかげら・獅子神楽)

白山大神様が通る道の悪魔を祓い清める役割の暴れ大獅子。勢いあまって観客も祓ってしまうことがありますのでご注意ください。

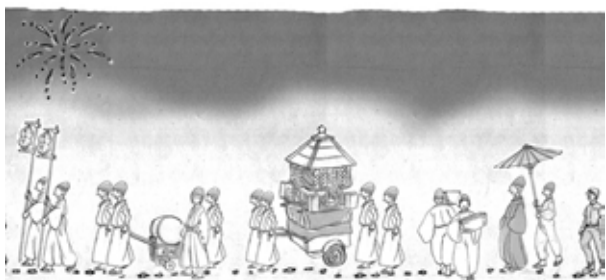


● 田楽提灯 (でんがくちょうちん)

大谷の風神祭といえば田楽提灯行列。区ごとに小学生が提灯を持って歩きますが、児童数が減ったために地区外からの応援参加もあります。昔は200人以上の列だったそうです。提灯の絵は、アニメものが多いですが凝ったものもあり、ロウソクの灯りに透かし出されてきれいです。

● 楽 人 (がくじん・太鼓)

昔は、太鼓、鳳笙、ひちりき(笛)、の三管がそろって歩いていたらしいです。



● 御神輿 (おみこし)

白山大神様が乗っていらっしゃるので拍手を打ってお参りしましょう。神様は本来、光が苦手。大谷は夜に静々と進む古式に則った神輿渡御です。四隅に四神の提灯があるのも珍しいそうです。昔は4人で担いでいました。

● 御行李 (おごうり)

御神輿にお参りする時のお賽銭は、この行李(籠)に入れます。

● 宮 司 (ぐうじ・神職)

神輿の後ろにお伴して神様を守っている。豊嶋宏行宮司。

● 長柄傘 (ながえのかさ)

宮司の後ろからさしかけて守る魔除けの赤い傘です。



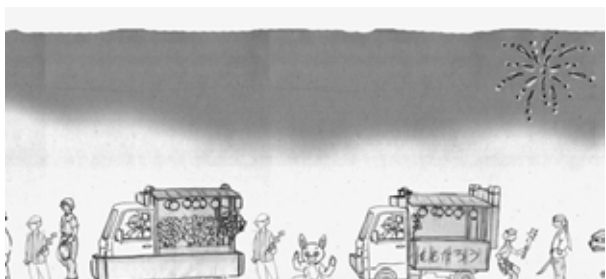
● 角田流大谷獅子踊り (切幕獅子・第4区浦小路)

200年前に仙台藩角田(現宮城県丸森町)より伝承された県指定無形民俗文化財の供養獅子です。戦後、廃れかかっていたが、昭和47年に若者達が保存会をつくり復活させました。雄獅子と雌獅子に友獅子がちよっかいを出して喧嘩になる物語を舞います。獅子頭の山鳥の尾羽2本が雄獅子、0本が雌獅子、1本が友獅子。太鼓は頭に日天・月天・星・風(風車)の飾り。

● 屋 台 (やたい) ※令和元年現在

趣向をこらした出し物を村内6ヶ所で演じます。(裏面地図参照)

- ◆ 立小路(第1区) 流行のダンス&仮装。当日参加大歓迎。子供はお菓子をもらえます。
- ◆ 田 中(第2区) 日本昔話。原作を裏切る展開になることも。乱闘シーンが必ず入ります。
- ◆ 高 木(第3区) 大人顔負け子供暴れ獅子と、迫力あるばちさばきの風神太鼓。
- ◆ 峯 壇(第5区) テレビで人気の時代劇。その年の話題や事件を題材にしています。
- ◆ 東 (第6区) 風神神輿。手づくりの神輿は毎年進化。寒河江の神輿会も応援にきます。



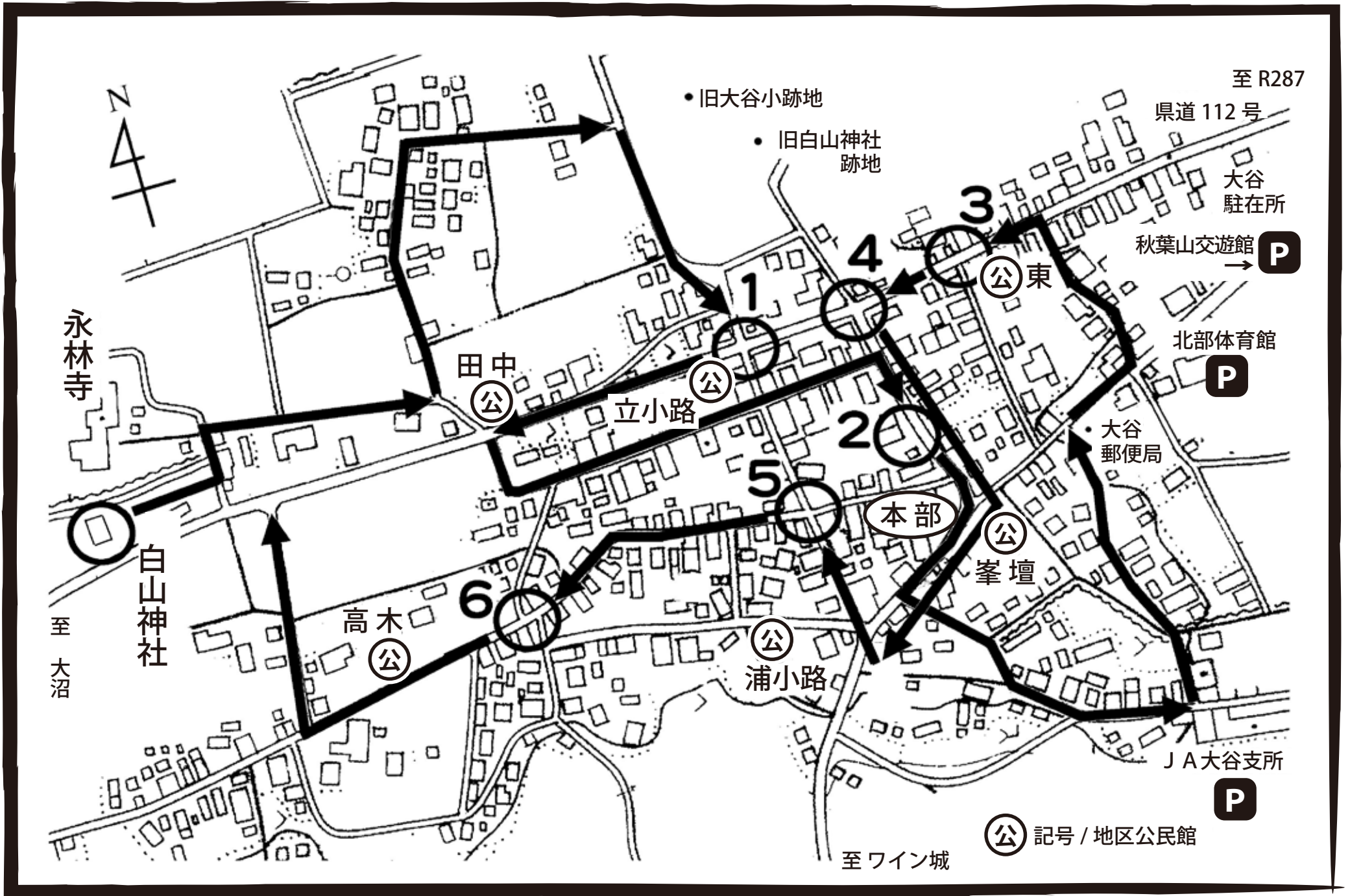
◆◆◆◆◆今年(令和元年)の行列順と屋台演じ物◆◆◆◆◆

◎大行列 白山神社午後7時出発 ◆立小路(第1区) 天狗様(猿田彦命)にお神楽(大獅子)
 → ◆白山神社御神輿巡行 → ◆名物子供手作りの『田楽提灯』行列 → ◆浦小路(第4区) 山形県無形民俗文化財指定『角田流大谷獅子踊り』 → ◆田 中(第2区)屋台『桃太郎』 → ◆高 木(第3区)屋台『風神太鼓』と『子供神楽』 → ◆峯 壇(第5区)屋台時代劇シリーズ『水戸黄門』 → ◆東(第6区)屋台『風神神輿』
 ※『子供神輿』大谷区内一巡(午後2時 大谷往来館出発)

● 提灯とお供え物

各家の玄関先の田楽提灯を見て歩くのも楽しいです。お供え物は、縁側に小机を置いてお灯明、赤飯、果物、野菜、初穂料を載せています。

8/31 大谷風神祭行列巡行MAP



●風神祭神事

行列が出発する前に白山神社内で、氏神の白山大神様と合祀された8社の神々に風の災いが起きないようにお願いし、奈良県龍田大社の風の神、志那津彦命・志那津姫命を遥拝します。その後、神輿に白山大神様を分霊し、村中にご利益が行くように「神輿渡御（みこしとぎよ）」の行列が出発します。

●参拝 行列に参加する人は出発前に白山神社に参拝。暴れ獅子神楽（おかぐら）は神社玄関に飛び込みます。

●行列開始 午後7時、花火打ち上げを合図に白山神社を出発。

●お神楽と屋台の演じ場所（六ヶ所）

1. 旧田中屋前…露店のまん中で最も観客が多い。ただ、初舞台となるために演者の動きは少し硬め。
2. 白田米店前…神楽獅子が松谷屋菓子店で饅頭を食べることも。消防本部は毎年襲われる。
3. 東公民館前…観客は少なめ。じっくり鑑賞可。このあと屋台は休憩し神輿は元の神社跡に向かう。
4. 旧堀薬店前…広い場所で観客も多い。宴もたけなわで飛び入り参加も出始める。
5. 白田電気工事店前…狭い場所だけどとても賑やか。ラスト前なので改めて演技に熱が入り始める。
6. 鈴木石工店前…最後なので全身全霊の熱演。もしくは酔いと疲れで乱れる。祭りの後の寂しさ。

※ただし、円滑に進むように2と3については、大谷獅子踊りと次の屋台は素通りし、二度目に通った時に演じます。また、大谷獅子踊りは3.東公民館前では踊りません。ご注意下さい。



●駐車場 秋葉山交遊館、北部体育館、JA大谷支所（地図参照）

●トイレ 松谷屋菓子店近くの本部「大谷往来館」と各地区公民館。（地図参照）

●露店 演じ場所1.旧田中屋前と4.旧堀薬店前の間（国道112号左沢浮島線）

●ご祝儀・さい銭

お神輿の白山大神様にさい銭を上げ柏手を打って参拝します。さい銭は同伴している係のお行李（籠）へ。またお神楽や屋台にはご祝儀で労っていただければ（できれば1,000円以上をのし袋に入れて準備）記念の串花やうちわをもらえます。大切な屋台作りの経費に充てられます。

●お問合せ 風神祭について / 大谷風まつり実行委員会 TEL・0237-68-2537（白井淑浩）

リーフレットについて / NPO 法人朝日町エコミュージアム協会 TEL・0237-67-2128（9:00～17:00 月・木休み）